

会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度 第2回所沢市立所沢図書館協議会
開 催 日 時	平成23年5月11日（水）午後2時45分～午後5時まで
開 催 場 所	杉並区立方南図書館 多目的室
出席者の氏名	風間 俊克、内野 正行、松居 辰則 小林 登、工藤 恭子、柳沢 栄子
欠席者の氏名	飯國 治、高崎 和子、高野 徹、原 勉
説明者の職・氏名	
協 議 事 項	(1) 所沢市立所沢図書館分館における指定管理者による管理運営について (2) その他 報告事項 ① 指定管理導入にかかわる今後のスケジュールについて
会 議 資 料	(1) 会議次第
担 当 者 名	教育総務部長 山崎 裕司 教育総務部次長 藤田 晃 図書館館長 斎藤 雅裕 図書館主査 奥村 稔 図書館主査 中村 まさみ 教育総務部 図書館 電話 2995-6311

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	経費的には、安くなるのか。
竹田係長	サービスに対する費用対効果は高い。つまり、コストとしては安い。
委員	指定管理館の建物の所有者は。
竹田係長	杉並区のもの。
委員	節電等の対策は区の方針に従っているのか。
竹田係長	4月は、節電対策で5時までで閉館した。スポーツ施設なども同様である。1ヶ月間のことで、契約変更するほどではないので覚書を交わして事業者と調整した。節電については、基本的には区の方針に従ってもらっている。7月以降も、15パーセント減ということで、休館なども実施する方向。照明の間引きや消灯による節電も協力してもらっている。
委員	図書の上の部分に、購入年度の数字がふってあるが、あれは方南図書館独自の考えか。廃棄のときの参考になるので、学校図書館にも使えると思った。
鈴木館長	独自ではなく古い図書館を見習って始めたが、杉並区全体の全ての図書にふってあるわけではない。
委員	小学校1年生に図書を入れるバックを配っているとのこと。読書教育にとっても良いと思った。区の手配なのか。
竹田係長	区内全域・全館で、近隣の小学校に就学をした子どもたちを対象に、本を入れた杉並区立図書館の名前とイラストが入ったバックを配り、本の紹介や図書館のPRを実施している。
委員	本を大切に、とただ言うより伝わる。区の方針として、一年生から連携しているということはずいぶんいいこと。 入館してすぐのところに、主婦の方たちが読むような雑誌がある。あれは、来館者の年代をイメージし、配慮して、位置等を考えているのか。
鈴木館長	児童コーナーとの位置関係など、家政学の本の位置は考えている。若いお母さん方の動線を考慮して書架配置を考えている。それは、館独自である。
田中係長	補足だが、重点課題として館ごとに取り組む分野と、区内図書館でそ

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>れぞれ分担収集している分野がある。方南は、子育て支援を重点課題のテーマとしている。児童幼児向けの図書の収集や、家政学などの本に力を入れている。</p> <p>区が重点課題のテーマを決めたのか。</p>
竹田係長	<p>区が直接ではなく、各館の希望を聞き、中央館で重複部分について、利用者ニーズを把握しているか、各館の特性を捕らえているかなどを考慮し、調整した。レイアウトや見せ方などの取り組みは、館に任せている。</p>
鈴木館長	<p>方南図書館は2階が私立の保育園であり、新興住宅地でマンションがあるので、子ども連れの母親の利用が多い。そのため、児童コーナーが充実しており、絵本も他館と比べても多い方である。その関係もあり、子育て支援に昨年度から取り組んでいる。</p>
委員	<p>本を入れるかごは、区が用意したのか。</p>
竹田係長	<p>要望がある館には区で入れている。</p>
委員	<p>指定管理者になってから、図書費は上乘せされたのか。</p>
竹田係長	<p>方南図書館の蔵書は、11万冊ほど。委託館は選書を中央館で行い、指定管理館は各館で行うようになっている。そのため、単純比較は難しい。指定管理館は、指定管理の予算の中で選定している。</p>
委員	<p>選書は、自分たちの判断でできるのか。</p>
鈴木館長	<p>年度の初めに、資料管理計画を、中央館でまとめている。方南では、分担収集として3分類を多めにし、課題としている児童の図書も多めに購入している。</p>
委員	<p>2階の保育園との連携は。</p>
鈴木館長	<p>図書館の部屋で、保育士と図書館スタッフで、人形劇やパネルシアターなどを、3ヶ月に一度開催しており、乳幼児の参加者が多い。地域子育てネットワークがあり、児童館・小学校・幼稚園などと打合せをして、年に2度か3度、近くの児童館で実施しており、100～200人の参加者がある。方南図書館では大型紙芝居、読み聞かせをしている。昨年度も11月と1月に開催した。昨年度、指定管理館になってからの行事</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>である。これからも、地域との共同の行事を増やしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>外での事業実施は、カウンター維持の面で大変ではないか。</p>
鈴木館長	<p>事前に予定がわかるので、シフトを考えて外に出て行く体制を作っている。児童、リクエストなど、その業務につく担当があり、児童の催し物については、主に児童担当が参加するようにしている。</p>
委員	<p>標準化されたサービス以外にカスタマイズした部分というのはどれくらいあるのか。</p>
田中係長	<p>それぞれの自治体でスタートが違い、求められている標準が違う。それを、指定管理に応募する際に、事業者としてのスタンダードとして考えている。カスタマイズの部分については、事業の実施内容などについて、今まで蓄積してきたものやこれまでの杉並区の取り組みに、プラス利用者懇談会などで、毎年度、アレンジを考えているところである。</p> <p>制服も、委託のときは茶色のエプロンだったが、指定管理になって制服を提案させてもらった。賛否両論いろいろな意見をいただいているが、カスタマイズといえる。</p>
委員	<p>委託から指定管理に移行したわけだが、指定管理になってやりやすくなったか。委託だと上に区の館長がいて、仕様により仕事をするわけだが、指定管理者となれば、自由度が増すのではないか。</p>
鈴木館長	<p>委託館の時には、館長がいて心強かった面がある。ただ、選書は、自分たちでできるようになったことで、指定管理になってよかったと思う。選書は、非常に難しいと思うが、2年目を迎え、少しずつ計画を具合的に立てていけるようになった。ようやく私たち独自の図書館らしく展開していけると、スタッフ一同励みにしている。</p>
	<p>内野委員、山崎部長、藤田次長、所要のため退席</p>
委員	<p>区内で違う指定管理者が入っているが、サービスに差が出るということはないのか。</p>
竹田係長	<p>区からすると、差が出てくれるとわかりやすい。それぞれ特色を出していただいて、いいところは見習ってお互いに切磋琢磨すれば、もっと良くなると思っている。一年目はなかなか独自性が出しにくいのではな</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>いか。杉並の場合は一期三年契約であり、どうしても期間が短いと独自性が出しにくい、チャレンジしにくいというのがあるのかと思う。</p> <p>一社にまとめて指示を出した方が、中央館は楽なのではないか。</p>
竹田係長	<p>プロポーザルの結果、区域ごとに指定管理者が違ったのは、やむを得ないと考えている。連絡はメールが多いので、宛先の設定レベルの手間。1区域2館の両館長、事業者の担当、区の担当職員とで、月1回の事業連絡会を実施している。前月の実績、区民からの要望・苦情等を含めて、事業計画の打合せを行っている。その回数が増えることについては、競争原理を働かせるため必要な手間だと思う。それほど負担感はない。</p>
委員	<p>良い事業をしているところに追いつくようになるだろうから、プラスにはなっているだろう。</p>
竹田係長	<p>指定管理を入れるときに難しいのは、収益事業が無いこと。図書館の規模、諸条件によってどうしても違ってくる。創意工夫をしてほしいので、なるべくインセンティブを与えるような形にしている。</p>
委員	<p>指定管理導入によって、地域との連携や学校へのサービスなどが落ちてしまうと困ると思っている。</p>
竹田係長	<p>プロポーザルの中でブックスタートも行っている。そういう意味では導入によって、地域とのコミュニケーションが悪くなるということはない。</p>
	<p>視察での質疑を終了</p>
議長	<p>2 協議事項</p> <p>協議会は公開、会議録は要点筆記とし、署名人は工藤委員、小林委員をお願いします。</p> <p>協議事項（1）所沢市立所沢図書館分館における指定管理者による管理運営について、事務局から説明をお願いします。</p>
奥村主査	<p>平成23年度第1回の協議会の際に、所沢市立所沢図書館分館における指定管理者による管理運営について諮問をさせていただいた。</p> <p>今回、指定管理館を実際に見ていただき、イメージも変わったことと思う。今後の答申に向けた前段として、ご質問ご意見をいただきたい。</p>
議長	<p>ホームページで、指定管理の募集が始まっている。ある程度固まって</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
奥村主査	<p>いるのではないかと思うが、前回の配布資料について、意見・質問等があればお願いします。</p> <p>現段階では、募集要項と業務要求水準書をインターネット上で公開し、最低限お願いしたい内容になっている。つまり、直営で行っている業務内容そのものである。議会議決を経て、指定管理者を決定後、協定書を結ぶ。協定書には具体的業務内容も入ってくるので、今後協議を行う中で、調整も可能である。指定管理者制度導入の全体的な考え方などについてもご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>諮問の資料だけでは、目に見えなかったことまで、今日来ることによって見えてきた。0歳からのサービスや、地域との連携、学校へのサービスができれば良いと思う。</p> <p>各館の提案を聞きながら全体をまとめたということで、区の方からある程度の指示があっても、その後から、独自にいろいろなものを取り入れていくという館の姿勢を、所沢でも進められたら良い。所沢も、こういう風に変えていけるのかと期待してしまう。</p>
議長	<p>所沢と違うところが見えたのか。</p>
委員	<p>保健センターとの連携で、4ヶ月という、ちょうど子育てに悩んでいる時期の母親に対して、図書館が関わっていく姿勢が素晴らしい。そういうものに触れるという「ゆとり」を、文化都市所沢も取り入れていったらよいと思う。地域との連携で、保育園、幼稚園との連携に取り組む姿勢が、素晴らしく驚いた。小さい頃は、自分で選べないので、環境の中で親が選んでいく。子育ての心の中まで、行政が援助するという姿勢が見えたような気がする。所沢が今後どうなるのか、今日見えてすごく良かった。</p>
議長	<p>4ヶ月とはブックスタートの関係だと思うが、予算的な問題もあり難しいと思う。所沢市での子育てに向けた取り組みは。</p>
委員	<p>所沢でブックスタートをやってほしいということではなく、そういう視点で図書館に携わっているということが大事だと思う。所沢でできるかといえば、子どもの人数や保健センターの業務量の問題もあると思う。姿勢を大事にしてほしい。</p>
斎藤館長	<p>ブックスタートはしていないが、0歳児向けの冊子を作り、保健センターなどでも配布している。予算的に難しい場合は、図書館としてどうしていくかということ工夫していきたい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	長期ビジョンのこともあるので、何かあればお願いします。
委員	各図書館の運営に携わる方が、地域とのことを考えて、自主的にやりたいということ、行政が集めて、受け入れて行くというのは、スタッフの館にたいする愛着が湧く。頭から行政がやりなさいということもあるだろうけれど、この方が良い。
奥村主査	<p>管理運営は、水準書、協定書をもとに実務してもらおうが、本館が対応できないという理由で、自主的な活動を抑えるようなことはしたくない。指定管理館からの発案で本館対応が難しいような場合でも、協議会に相談させていただきたい。</p> <p>図書館も考え、利用者のご意見も参考にし、協議会にも諮っていききたい。導入するからにはサービスのレベル向上につながればと思う。</p> <p>どのような提案が出てくるかは、請け負った相手にもよるし、所沢という地域、分館をどう捉えるかによって異なる。とても受け入れられないという提案は別だが、なるべく阻害しないように進めていきたい。複合館では、公民館等との連携も進めていきたい。</p>
斎藤館長	<p>今後、図書館と公民館等との連携は、これまで実施していた映画会等も含め、継続していけると考えている。来年4月にできる新所沢分館は、児童館・公民館と併設で、裏には北小学校がある。図書館でも考えなければならぬが、指定管理者がどのように考えるか期待している。</p>
斎藤館長	<p>（2）その他 事務局としては、特になし。</p>
議長	委員側からも特には無い。
奥村主査	<p>4 報告事項 指定管理導入についての報告があります。5月10日から24日まで募集をしております。5月26日の午前中業務説明会、午後新所沢分館グループ3館、27日に新所沢分館グループ施設見学を実施いたします。その後、第1回目の審査日を7月上旬頃と予定しておりますが、まだ決定しておりません。</p>
斎藤館長	第3回目の協議会については、6月上旬の議会前に開催させていただく予定です。どうぞよろしくをお願いします。
議長	他にないようですので、議長を解かせていただきます。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>5 閉会のあいさつ 斎藤館長のあいさつにより、午後5時に会議は終了。</p>